

秋風に乗ってスィング🎵



魅惑のジャズボイス



因幡由紀（いなばゆき）
[ボーカル]

5歳でクラシックピアノを始める。1999年広島でハート・ブレイク・ジャズ・オーケストラに出会い、ビッグバンドのボーカルとして活動を開始。同時にジャズやポップの分野で、ソロとしても精力的にライブを始める。

広島のジャズイベント、水辺ジャズ、森ジャズをはじめ様々なイベントへ出演。2007年6月6日テイチクエンタテイメントよりリリースされたオムニバス・カバー・アルバム「On/Off SevenColors」に参加。エリックマリエンサル、ボブシェパードなど、国内外のアーティストとの共演も多数。ヴォイス・トレーニングの一環として姿勢を研究し、水泳やバレエにも



佐竹洸紀（さたけひろのり）
[ギター]

15歳より独学でギターを始め学生時代から様々なジャンルのバンドに参加。ブラックミュージックを演奏するバンドへの参加をきっかけにJazzに傾倒。2013年にはニューヨークで路上演奏活動をしながらかジャズクラブや教会などでのセッションに参加し、研鑽を積む。現在は広島を拠点に演奏活動を行っており、ライブハウス・ホールでの演奏の他、様々なイベントへの出演、ラジオ・TV出演など活躍の場を拡げている。

広島大学病院ファミリーハウスの紹介

広島大学病院は、厚生労働省よりH25.4月に中国四国ブロックで唯一の小児がん拠点病院に指定され、広島県を中心として小児がんや難病の子供さんを受け入れ、造血幹細胞移植を含めた先進医療を行っています。小児がんの治療には半年以上に渡る長期入院が必要となるため、経済的な負担や、家族が離れて暮らす精神的負担を抱えることとなりますが、その負担を少しでも軽減できるよう、患者、家族が利用できる滞在施設として、「広島大学病院ファミリーハウス」が建設されました

利用される患者さんのご家族が低廉な金額で宿泊できる様に、また施設の充実を図るために運営基金を設け、各方面からの幅広い寄付金を募っています

詳細は医療支援センター（082-257-1648）にお問い合わせください